

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
現代の国語	普通科／探究科・1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 現代の国語（東京書籍） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 五訂版常用漢字オールクリア（尚文出版） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 力をつける現代の国語（数研出版） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 国語必携ライトパーフェクト演習（尚文出版）※探究科のみ
-------------	---

科目の目標		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成する。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能をICTや辞書、補助教材を用いて身に付けるようにする。	協働的かつ対話的な活動をとおり論理的に考える力や、深く共感したり想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	各種検定試験の受験や作文コンクールへの主体的な参加を促しながら、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	40%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準 [知識・技能] ・社会生活上、必要な国語の知識や技能について理解し、活用することができる。 ア言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解している。 イ常用漢字の読み書きに慣れ、文章の中で使うことができる。 ウ実社会で必要な語句の量を増やし、その構造や用法等について理解し、実際に活用することで、語感を磨き語彙を豊かにする態度を育むことができた。</p>	<p>B 評価の規準 [思考・判断・表現] ・自分を取り巻く環境や状況について客観的かつ論理的に思考を重ね、他者と伝え合うことで更に思考を深め、周囲への共感的態度を涵養する。 ア主張と論拠など情報と情報との関係について理解していること。 イ個別の情報と一般化された情報との関係について理解していること。 ウ推論の仕方を理解し使うことができるようになること。 エ情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。 オ引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。</p>	<p>B 評価の規準 [主体的に学習に取り組む態度] ・社会のさまざまな話題や課題に幅広く関心を持ち、言葉をとおして自他の存在について理解を深めようとしている。 ・粘り強く本文の要点を把握し、学習課題に沿って視点を変えてみることを理解し、自ら論点における課題を調べようとしている。 以下の事柄を評価対象とする。 ・言語活動 ・提出物(提出状況及び取組内容) ・各種検定試験への取組について、その成果が顕著であった場合</p>
<p>※定期考査, 単元別テストおよび漢字小テスト 「思考・判断・表現」分野は言語活動も評価対象とする</p>		
<p>上記の内容について、取組や成果が特に顕著であった場合、A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	「身銭」を切るコミュニケーション(内田樹)	4	語彙力向上, 修辞(比喩, 例示等)
5	思考への扉2「メタ・コミュニケーション」		読解の基礎(例示から作者の意図を把握)
	水の東西(山崎正和)	6	語彙力向上, 修辞(比喩, 例示等)
6			論の展開(対比, 言い換え等) 文化論に関する意見文を書く
7	探究編1「本を紹介する」	6	プレゼンテーション資料の作成 聴衆の興味を引くよう工夫して発表する クラスメイトのおすすめ本を読み、感想文を書く
8	共鳴し引き出される力(伊藤亜紗)	5	語彙力向上, 修辞(比喩, 例示等)
9			語句の本文中での定義を確認し, 主旨を把握する(「能力」「予防」「予備」等)
10	生物の多様性とは何か(福岡伸一) 思考への扉4「共有地の悲劇」	6	語彙力向上, 修辞(比喩, 例示等) 本文中で指摘されている事象について, 自身の周辺環境と比較しながら考察を深める
11			生物多様性について意見文を書く
12	暇と退屈の倫理学(國分功一郎)	6	語彙力向上, 修辞(比喩, 例示等) 筆者が引用した箇所の読解から筆者の意図を理解する(『豊かな社会』)
	探究編5「メディアを適切に使い分けながら情報を収集する」	4	インターネットや雑誌・書籍から, 必要な情報を収集する
	探究編6「調べた情報を説明資料にまとめる」		収集した情報を整理し, 説明資料にまとめ, 発表する
1	学ぶことと人間の知恵(広中平祐) 人工知能の現在と未来 (羽生善治・篠原弘道)	5	語彙力向上, 修辞(比喩, 例示等) 二つの文章を読み比べながら共通点や相違点を見つけ, 論理的に説明する。
2	探究編7「異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く」	4	速読と遅読について書かれた文章を読み, それぞれの筆者の違いをおさえる 似たようなテーマ(動画の倍速再生, 宿題を「片付ける」やり方の是非等)について意見文を書き, 発表する
3	広告の形而上学(岩井克人)	2	語彙力向上, 修辞(比喩, 例示等) 資本主義における広告の意義について, 例示されている事柄を参考にして理解する。

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
言語文化	普通科・1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 精選言語文化（東京書籍） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 五訂版常用漢字オールクリア（尚文出版） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 力をつける言語文化（数研出版） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 基本の古典（尚文出版） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 古文漢文を一緒に学ぶ 古典の手引き（いいずな書店） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 読んで見て覚える 重要古文単語315（桐原書店）
-------------	--

科目の目標		
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動をとおして、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	40%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準 [知識・技能] ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、活用できるようにする。また、言語生活を豊かにするために我が国の言語文化について理解している。 ア言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 イ常用漢字の読み書きに慣れ、文章の中で使うことができる。 ウ我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにすることができた。 エ我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解できた。 オ古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。また、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについても理解できた。 カ我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について思索を深めた。</p>	<p>B 評価の規準 [書くこと] ・自分の知識や体験の中から適切な材料を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にできた。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫できた。 [読むこと] ・様々な時代に書かれた我が国の伝統や文化に関する文章を読み、先人の考え方について論理的に読み取り、共感したり想像を働かせたりするとともに、その内容について他者と共有することで思索を深めることができた。</p>	<p>B 評価の規準 [主体的に学習に取り組む態度] ・文章を読むことをとおして、現代の私たちを取り巻く社会や自然に対する関心を高めることができた。 ・広い視野で物事を捉え、国際理解を深めるとともに、国際協調の精神を高めるために、学んだ内容を活用できた。 以下の事柄を評価対象とする。 ・言語活動 ・提出物(提出状況及び取組内容)</p>
<p>※定期考査および単元別テストおよび古文単語小テスト 「思考・判断・表現」分野は言語活動も評価対象とする</p>		
<p>上記の内容について、取組や成果が特に顕著であった場合、A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4 5	耳覚めの季節(青山七恵)	4	語彙や表現に関する理解を深める。 展開や構成に留意し、筆者の意見を捉える。
	児のそら寝(宇治拾遺物語) 古文学習のしるべ1「古文の言葉と仮名遣い」 古文学習のしるべ2「古語を調べるために」	6	語句の学習, 歴史的仮名遣いの理解 歴史的・文化的背景などの理解
6	訓読の基本(漢文入門)	4	訓読法, 音読, 返読文字, 再読文字
	矛盾(韓非) 漢文の窓1『韓非子』の寓話のねらい」	3	語句の学習 歴史的・文化的背景などの理解
7	羅生門(芥川龍之介) 言語活動「翻案作品を原作と読み比べる」 コラム「小説の読み方」	6	登場人物の心理描写の読解を通して主題を把握し、普遍性を実感する。言語活動
8	ある人、弓射ることを習ふに(徒然草)	4	語句の学習, 主題の把握
9		5	文法事項(用言(動詞)について) 語句・句法(使役・反語)の学習 言語活動
10	富嶽百景(太宰治) 現代文の窓3『富士は日本一の山か?』	8	語彙や語句に関する理解を深める。 比喩表現の理解を通して主題を把握する。
11	和歌(古今・新古今) 古文の窓6「勅撰和歌集の構成」		言語活動 語彙力向上, 表現技巧の理解
12	筒井筒(伊勢物語) 古文の窓3「恋愛と結婚」	4	語句の学習, 主題の把握 文法事項(用言(形容詞・形容動詞)について 助動詞について, 係り結びの法則について)
1	晏子之御(史記)	4	語句の学習, 主題の把握 言語活動(登場人物の人物像)
	富士の山(竹取物語)	6	語句の学習, 歴史的・文化的背景などの理解
2	古文の窓8「古典文学の中の富士山」	3	文法事項(用言について, 係り結びの法則) 言語活動
3	小景異情(室生犀星)		五音、七音のリズムを持った文語詩を読み味わい、そこに込められた作者の心情について考える。

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
地理総合	普通科1年 探究科1年 総合ビジネス科1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 地理総合（東京書籍） <input type="checkbox"/> 地図帳 基本地図帳（二宮書店） <input type="checkbox"/> 資料集 最新地理図表 GEO（第一学習社）
-------------	---

科目の目標		
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを系統的に理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用い、ICTも活用しながら調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、協働的な学習をとおして地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事情について、地域に関する学びや体験等を踏まえてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B評価の規準 [わかった・できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各時間の「問い」や「課題」に対して、ポイントとなる語句を理解し、キーワードとして挙げるができる。 各時間の「問い」や「課題」に対する答えを導くために、資料から必要な情報や見方・考え方を読み取ることができる。 	<p>B評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各時間の「問い」や「課題」に対して、 <ol style="list-style-type: none"> ①どんな概念や資料を用いれば良いか、見い出すことができる。 ②テーマを把握し、社会の状況や実体験と考え合わせて、課題の本質や解決策について多面的・多角的に考察している。 ③他者の意見との違いを整理しながら、自己の考えをまとめ、表現している。 	<p>B評価の規準 [粘り強さ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、各時間の「問い」や「課題」に対して答えや解決策を導こうとしている。 <p>[自分なりの工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学びの振り返りを生かして、ノートを取り方などを工夫している。また、仲間と協働して学び合うことで自己の考えを深めようとしている。さらに、各時間の「問い」や「課題」を自らの問題として捉え、主体的な答えや解決策を導こうとしている。 <p>※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。</p>
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価は、単元テスト及び定期考査でも行います。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	1-1 私たちが暮らす世界	3	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間、地球は眠らない。 ・丸い地球を、平らな紙に正しく描けるだろうか。 ・小さな島が、大きな意味を持つのはなぜ？
5	1-2 地図や地理情報システムの役割	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地図を使わない人は、ほとんどいない。 ・地形や土地利用の歴史がひと目でわかる。 ・このテーマ、どんな地図で表すべきか。 ・地図の可能性は、まだまだ広がる。
6	1-3 資料から読み取る現代世界	5	<ul style="list-style-type: none"> ・地球は、どんどん小さくなっている？ ・世界中が、ネットでつながりはしたけれど。

			<ul style="list-style-type: none"> ・仕事に、旅行に。人々は外国をめざす。 ・国どうしの貿易は、どう変化しているのか。 ・国どうしの結び付きで、世界はどこに向かう？
7	2-1-1 生活文化の多様性と国際理解	2	<ul style="list-style-type: none"> ・肉じゃがと言えど？「牛肉だ！」「豚肉だ！」 ・宗教に根ざした、習慣や文化がある。
	2-1-2 生活文化と自然環境①地形	3	<ul style="list-style-type: none"> ・山に住むには、どんな工夫が必要なのか。 ・流れる川が、地形を変えていく。 ・さまざまな海岸と、そこでの暮らしとは。
8 9	2-1-3 生活文化と自然環境②気候	5	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜこれほど違う？暑さ、寒さ、雨の量。 ・強い日差しと激しい雨。人々の暮らしと農業は？ ・雨が少ない！どうやって水を得る？ ・クーラー不要の地域からストーブ不要の地域まで。 ・長い冬を過ごすための食料や、町の工夫とは？
10	2-1-4 生活文化と産業	4	<ul style="list-style-type: none"> ・人の食生活は、気候だけで決まるのだろうか？ ・工場は、どんな理由でどんな場所に建つのか。 ・売り方も、買い方も、社会とともに変化する。 ・ものづくりも働き方もICTが変えていく。
11	2-2-1 地球環境問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・大気と海に、何が起きているのだろう。 ・森林減少と砂漠化、その原因を探る。
	2-2-2 資源・エネルギー問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが、欲しがる。だから、取り合いに。 ・地球を、「電池切れ」にさせないために。
	2-2-3 人口問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が増えたのはなぜ？何が問題なのだろう。 ・若者が減り、高齢者が増えるとどうなる？
12	2-2-4 食糧問題	1	<ul style="list-style-type: none"> ・増産しても、まだ足りない。なぜだろう。
	2-2-5 居住・都市問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・人は、何を求めて都市に向かうのか。 ・なぜ、再開発が必要なのか。
	2-2-6 民族問題	1	<ul style="list-style-type: none"> ・くり返す対立で、国を追われる人々がいる。
1 2	2-2-7 持続可能な社会の実現をめざして	1	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな課題を、解きほぐす糸口とは。
	3-1-1 日本の自然環境の特色	2	<ul style="list-style-type: none"> ・火山や、流れの速い川。日本は動き続けている。 ・四季ある国の、季節ごとの天候は？
	3-1-2 さまざまな自然災害と防災	7	<ul style="list-style-type: none"> ・地震が発生するメカニズムとは。 ・くり返す地震を、災害史から学ぶ。 ・火山をよく知り、共存していくために。 ・雪、猛暑、水不足、台風。どんな被害をもたらす？ ・大雨で、あふれる水。何が起ころのだろうか。 ・都市を襲う災害、危険はどこにある？

			<ul style="list-style-type: none"> ・地域を災害から守るため、いま、できることは？
3	3-2 生活圏の調査と地域の展望	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のまわりの、地理的テーマを探せ！ ・「〇〇かな？」まずは仮説を立ててスタート。 ・どこを歩いて誰に聞くか。計画が大切だ。 ・地域のこれからの、皆で考えていくために。

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
歴史総合	普通科1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 詳述歴史総合～（実教出版） <input type="checkbox"/> 資料集 ダイアログ歴史総合（第一学習社） <input type="checkbox"/> ノート 詳述歴史総合 マイノート（実教出版）
-------------	--

科目の目標		
<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>近現代史の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中のを広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p>	<p>近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p>	<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・【まとめ (Try)】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿って答えられている。 ・説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、 <u>適切にメモとして残している</u> 。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・【はじめの問い】や【作業 (Point)】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考えを記述できている</u> 。 ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、 <u>仲間のサイン</u> を受けている。	B 評価の規準 [粘り強さ] ・学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、提案や発表ができる。 [自分なりの工夫] ・ノートについて、 <u>教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりする</u> など、独自の記述が3か所以上ある。マーカーやアンダーラインも工夫している。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、単元テストや定期考査でも評価します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	1. 近代化への胎動	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの海外進出と市民社会 ・清の繁栄 ・東アジア諸国間の貿易 ・江戸時代の日本の対外政策
5	2. 欧米の市民革命と国民国家の形成	6	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の社会と生活
<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン ・ウィーン体制 ・19世紀のイギリスとフランス ・イタリア・ドイツの統一 			
6		5	<ul style="list-style-type: none"> ・東方問題と19世紀のロシア ・アメリカの発展と分裂 ・世界市場の形成

6	3. アジアの変容と日本の近代化		<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム世界の改革と再編 ・南アジア・東南アジアの改革と再編
7		4	<ul style="list-style-type: none"> ・アヘン戦争の衝撃 ・ゆらぐ幕藩体制 ・開国 ・幕末政局と社会変動
8		2	<ul style="list-style-type: none"> ・新政府の成立と諸改革 ・富国強兵と文明開化
9	4. 帝国主義の時代	7	<ul style="list-style-type: none"> ・近代的な国際関係と国境・領土の画定 ・自由民権運動の高まり ・立憲国家の成立 ・帝国主義と世界分割 ・帝国主義期の欧米社会 ・条約改正 ・日清戦争
10		7	<ul style="list-style-type: none"> ・日露戦争から韓国併合へ ・日本の産業革命と社会問題 ・アジア諸民族の独立運動・立憲革命 ・緊迫する国際関係 ・第一世界大戦 ・ロシア革命とシベリア出兵 ・大戦景気と米騒動
11	5. 第一次世界大戦と大衆社会	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・西アジア・南アジアの民族運動 ・東アジア・東南アジアの民族運動 ・戦間期の欧米 ・ひろがる社会運動と普通選挙の実現 ・政党内閣の時代
12		6	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌 ・ファシズムの時代 ・満州事変と軍部の台頭 ・日中戦争 ・第二次世界大戦とアジア太平洋戦争 ・戦争と民衆 ・敗戦
	6. 経済危機と第二次世界大戦		

1		6	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連合と戦後世界 ・戦後と占領の始まり ・民主化と日本国憲法 ・冷戦の開始 ・朝鮮戦争と日本
	7. 冷戦と脱植民地化		<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦対立の推移
2		6	<ul style="list-style-type: none"> ・植民地の独立と第三世界の出現 ・米ソ両陣営の同様 ・日本の国際社会復帰と高度経済成長
	8. 多極化する世界		<ul style="list-style-type: none"> ・石油危機と世界経済 ・緊張緩和から冷戦の終結へ
3		5	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協力の進展 ・日本の経済大国化
	9. グローバル化と現代世界		<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦体制の終結 ・地方紛争と世界経済 ・グローバルな認識へ

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
数学Ⅰ・数学A	探究科・1年	数学Ⅰ：3 数学A：1	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 最新 数学Ⅰ, 最新 数学A (数研出版) <input type="checkbox"/> 問題集 パラレルノート
------	--

科目の目標		
<p>○以下の分野について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。</p> <p>数学Ⅰ：<u>数と式</u>，<u>集合と命題</u>，<u>図形と計量</u>，<u>2次関数</u>，<u>データの分析</u></p> <p>数学A：<u>場合の数と確率</u>，<u>図形の性質</u>，（2年次：数学と人間の活動）</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>各分野についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p>	<p>以下の力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力 ・図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力 ・事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力 ・適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力 ・図形の性質を見だし、論理的に考察する力 	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（評価場面）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○観点別目標の達成や取組の状況において</p> <p>「十分満足できる」状況と判断される場合「A」（点数での目安：7割以上）</p> <p>「おおむね満足できる」状況と判断される場合「B」（点数での目安：3割以上7割未満）</p> <p>「努力を要する」状況と判断される場合「C」（点数での目安：3割未満）</p> <p>と評価する。</p>		
<p>○「知識・技能」の評価問題を理解している。</p> <p>（到達度チェックテスト）</p> <p>（授業時の解答状況等）</p> <p>（自己評価）</p>	<p>○「思考力・判断力・表現力」の評価問題を理解している。</p> <p>（到達度チェックテスト）</p> <p>（授業時の解答状況等）</p> <p>（自己評価・相互評価）</p>	<p>○授業に臨む態度等（日々の授業時）</p> <p>○課題（宿題）等の取組状況（プリント・ノート等）</p> <p>○努力度・理解度の自己評価（到達度チェックテスト）</p> <p>※「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえたうえで評価する。（例：CCA という評価はほぼありえない。）</p>
<p>○定期考査の点数だけでなく、日々の授業の取り組みを評価します。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	中学校の内容の確認 【数学 I】 第 1 章 数と式 第 1 節 数と式	8	1. 数の計算 2. 文字式 3. 方程式 1. 多項式 2. 多項式の加法・減法・乗法 3. 展開の公式 4. 式の展開の工夫
5	第 2 節 実数 第 3 節 1 次不等式	11	5. 因数分解 6. いろいろな因数分解 振り返り・節末問題・発展 7. 実数 研究 8. 根号を含む式の計算 節末問題・発展 9. 不等式 10. 不等式の性質 11. 1 次不等式の解き方
6	第 2 章 集合と命題 第 3 章 2 次関数 第 1 節 2 次関数とグラフ	14	12. 連立不等式 13. 不等式の利用 振り返り・節末問題・章末問題 1. 集合と部分集合 2. 共通部分, 和集合, 補集合 3. 命題と集合 4. 命題と証明 研究・振り返り・問題・章末問題 1. 関数 2. 関数とグラフ
	1 学期期末考査		
7		10	3. $y = ax^2$ のグラフ 4. $y = ax^2 + q$ のグラフ 5. $y = a(x - p)^2$ のグラフ 6. $y = a(x - p)^2 + q$ のグラフ 7. $y = ax^2 + bx + c$ のグラフ

			研究 8. 2次関数の最大・最小 9. 2次関数の決定 振り返り・節末問題・研究
8	第2節 2次方程式と2次不等式	3	10. 2次方程式 11. 2次関数のグラフとx軸の位置関係
9	第4章 図形と計量 第1節 三角比	15	12. 2次不等式 13. 2次不等式の利用 振り返り・節末問題・章末問題 1. 鋭角の三角比 2. 三角比の利用 3. 三角比の相互関係 4. 三角比の拡張 5. 三角比が与えられたときの角度 研究・振り返り・節末問題
10	2学期中間考査		
	第2節 正弦定理・余弦定理	15	6. 正弦定理 7. 余弦定理 8. 三角形の面積 9. 図形の計量 振り返り・節末問題・発展・章末問題
11	第5章 データの分析	14	1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばり 4. データの相関 5. 相関係数 6. 分割表 研究 7. 仮説検定の考え方 振り返り・問題・章末問題
	2学期期末考査		
12	【数学A】 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	10	1. 集合 2. 集合の要素の個数 3. 樹形図, 和の法則, 積の法則 4. 順列 5. 円順列と重複順列 6. 組合せ

			振り返り・節末問題
1	第2節 確率	9	7. 確率の意味 8. 確率の計算 9. 確率の基本性質 10. 和事象の確率 11. 余事象の確率 12. 独立な試行の確率 13. 反復試行の確率
2	3学期学年末考査		
	第2章 図形の性質 第1節 三角形の性質	8	14. 条件付き確率 15. 期待値 振り返り・節末問題・章末問題 ○到達度チェックテスト 1. 角の二等分線と比 2. 三角形の外心, 内心, 重心
3	第2節 円の性質	7	3. チェバの定理・メネラウスの定理 研究・振り返り・節末問題 ○到達度チェックテスト 4. 円周角の定理 5. 円に内接する四角形

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
化学基礎	探求科・1年生	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 化学基礎（数研出版） <input type="checkbox"/> サポートノート 化学基礎（数研出版）
-------------	--

科目の目標		
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成すること。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての観察、実験などを行うことを通して、物質とその変化に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けさせる	物質とその変化を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得させるとともに、報告書を作成させたり発表させたりして、科学的に探究する力を育てる。	物質とその変化に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・【まとめと練習】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 ・授業プリントなど説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、 <u>適切にメモに残している</u> 。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・【探究の問い】や【作業】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考えを記述できている</u> 。 ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、 <u>仲間のサイン</u> を受けている。	B 評価の規準 [観察・実験] 様々な探究の過程を通して科学の方法を学び、化学的に探究する能力と態度を育てようとするものであり、化学に対する興味や関心も、しっかりとした目的意識をもって行う 観察、実験 によって一層高めることができる。 [自分なりの工夫] ・授業プリントに教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりする。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	1章 物質の構成	1	物質の分類と性質
		2	物質と元素
5	1章 物質の構成	2	物質と元素
		2	物質の三態と熱運動
6	1章 物質の構成	1	原子の構造
		3	イオンの生成
		1	元素の周期表
7	2章 物質と化学結合	2	イオン結合とイオン結晶
		3	イオン結合からなる物質
8			
9	2章 物質と化学結合	3	共有結合と分子
		3	分子間力と分子結晶
10	2章 物質と化学結合	3	共有結合からなる物質
		3	金属結合と金属結晶

		3	金属
11	3章 物質の変化	2	原子量と分子量・式量
		2	物質質量
		2	溶液の濃度
		2	化学反応式
12	3章 物質の変化	3	酸と塩基
		3	酸と塩基の分類
		3	水素イオン濃度とpH
1	3章 物質の変化	3	中和と塩
		3	酸化と還元
2	3章 物質の変化	2	酸化剤と還元剤
3	3章 物質の変化	3	科学技術と化学

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
体育	1年普通科・探究科・総合ビジネス科	3	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p>	<p>運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な課題解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p>	<p>生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して技術の名称や実践、ルールやマナーを理解しようとしている。 ・課題解決法、練習法、試合法を理解しようとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに毎時の反省を記入し、自己評価をしようとしている。 ・互いに助け合い、教えあい、高め合おうとしている。 ・役割を積極的に引き受け事故の責任を果たそうとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備運動の声出し、活動時の周囲への声掛け、準備・片付けを積極的に行おうとしている。 ・活動の目的を理解し、実践しようとしている。 ・他者と協力して周囲に配慮をしようとしている。 ・健康・安全を確保しようとしている。 ・授業に積極的に参加しようとしている。
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、スキルテスト、体育理論で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画

月	単元	時数	学習項目
4	ダンス 体づくり運動	10	現代的なリズムのダンス 体ほぐし運動 体の動きを高める運動 実生活に生かす運動の計画
5	球技（選択①）	12	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール
6 7	球技（選択①）	12	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール
	体育理論	2	スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツが経済に及ぼす効果 スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境
		2	スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツが経済に及ぼす効果 スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境

8	球技（選択②）	3	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
9	球技（選択2）	1 2	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
10	球技（選択③）	1 2	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
11	陸上競技（長距離走）	1 2	20分間走・ロード走
12	陸上競技		20分間走・ロード走
1	ダンス 球技	9	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型
2	ダンス 球技	9	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型
3	ダンス 球技	7	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
保健	1年普通科・探求科・総合ビジネス科	1	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 ・ 単元テストの内容を理解しようとしている。	B 評価の規準 ・ 単元の内容を理解し、文章表現しようとしている。 ・ グループワークでの話し合いにより、単元の学びを深めようとしている。 ・ 発表の内容を分かりやすく工夫したり、説明したりスライドにまとめたりしようとしている。	B 評価の規準 ・ 互いに協力して教え合おうとしている。 ・ 役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしている。 ・ 授業に積極的に参加しようとしている。 ・ 発表後に質問をおこない、興味関心を持つようにしている。
※単元テスト、グループ発表の内容、スライドの作成		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	健康の考え方と成り立ち	1	座学、グループワーク
5	私たちの健康の姿	1	座学
6	生活習慣病の予防と回復	1	座学、グループワーク
	がんの原因と予防	1	座学
	がんの治療と回復	1	座学、グループワーク
7	運動と健康	3	課題学習（グループワーク）
	食事と健康		
7	休養、睡眠と健康	1	クラス別発表（グループ）
	心肺蘇生法	1	実技
8	精神疾患の特徴	2	座学、単元テスト
9	精神疾患の予防		
10	精神疾患からの回復		
11	喫煙と健康	3	調べ学習（グループワーク）
12	飲酒と健康		

	薬物乱用と健康		
		1	クラス別発表（グループ）
1	健康に関する意思決定・行動選択	1	座学、単元テスト
2	健康に関する環境づくり	1	座学、単元テスト
3	<ul style="list-style-type: none"> 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 	5	調べ学習（グループワーク）、実技練習
		1	クラス別発表・学年発表（グループ）

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
音楽1	普通科、探究科、総合ビジネス科、農と食の科学科、緑と水の科学科、社会福祉科1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 MOUSA I (教育芸術社) <input type="checkbox"/> 高校生の歌集 つどい
------	---

科目の目標		
<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。</p>	<p>自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p>	<p>主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表している。	B 評価の規準 [自ら表現意図を持っている] ・自己のイメージをもって歌唱、器楽表現ができている。	B 評価の規準 [主体的・協働的] ・学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、発表ができる。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、実技試験で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	【歌唱】 曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう。	6	校歌/Ave Maria 「ヴォイス・トレーニング」 翼をください
5 6	【歌唱】 J-POP や歌謡曲の特徴を理解して歌おう。 【鑑賞】 音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう	10	【歌唱】 Lemon/星に願いを/負けないで/クリスマス・イヴ/若者の全て 【鑑賞】 組曲《動物の謝肉祭》
7	実技試験 【鑑賞】 ピアノによる様々な表現を聴き取ろう。	6	リスト〈ラ・カンパネラ〉 ピアノ・ソナタ第23番《熱情》

8 9	【歌唱】【鑑賞】 ミュージカル・ナンバーを歌おう	8	歌唱：Memory/美女と野獣 鑑賞：ミュージカル《キャッツ》/ミュージカル映画『美女と野獣』
10 11	【器楽・創作】 和楽器（箏）に親しみ，演奏に挑戦しよう。	10	基本奏法を身に付ける 音階練習 さくら さくら変奏曲
11 12	【器楽】 表現を工夫してギター弾き歌いに挑戦しよう。 実技試験	8	7つのコード セーハを使う曲 ストローク奏法 日曜日よりの使者
1 2	【創作】【歌唱】 発音や発声を工夫して声によるアンサンブルをつくろう。	8	故郷 ぼくはぼく サザエさん 創作：「オノマトペでリズム・アンサンブルをつくろう」
3	【鑑賞】 世界の諸民族の音楽 1年間のまとめ	4	アリラン オルティンドー

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
美術 I	普通科、探究科、総合ビジネス科、農と食の科学科、緑と水の科学科、社会福祉科・1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 高校生の美術1 (日本文教出版)
------	---

科目の目標		
<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、造形的に表すことができるようにする。</p>	<p>造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p>	<p>主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
33%	33%	34%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B評価の規準 [わかった・できた] ・題材に関する知識を学び取っている。 ・題材を表現するための道具を扱う技術、技法を理解している。 ・美術作品の良さ、作家の表現の意図や工夫を学び取ろうとしている。	B評価の規準 [よく考え、考えをまとめ、表現できた] ・題材の特徴を捉え、主題を考え、構想している。 ・構想をもとに素材の特性を理解しながら表現しようとしている。	B評価の規準 [粘り強さ] [自分なりの工夫] ・学習活動に真剣に取り組んでいる。 ・構想をもとに自分なりの表現を模索し、工夫しながら取り組んでいる。 ・他者の作品の良さを感じ、学び取ろうとしている。 ※作品の未提出や私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価になります。
※定期考査なし。授業態度、作品制作、提出物で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション	1	・年間の目標や美術の領域を理解する
	「身近なものを描く」 ～鉛筆デッサン～	8	・鉛筆の削り方 ・鉛筆の描く時の持ち方 ・鉛筆の調子の乗せ方 ・立体表現 ・陰影のつけ方 ・質感表現 ・果物、野菜のデッサン ・相互鑑賞
5			
6	「サインのデザイン」 ～ロゴマークデザイン～	14	・ドローイングアプリ（アイビスペイント）の扱い方を身に付ける ・ロゴマークの分析をもとにデザイナーの表現意図や工夫を学ぶ ・オリジナルのロゴマークデザインを考え
7			

			<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン画をドローイングアプリで清書する ・相互鑑賞
8			
9	「身近な素材と立体表現」 ～心動かされる動物像を作る～	12	<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻家三沢厚彦の作品「ANIMALS」を鑑賞し、単純化されても動物の本質に迫る表現の面白さを学ぶ ・自分なりの表現で動物の絵を描く ・絵をもとに断熱材を使い、動物像を制作する ・相互鑑賞
10			
11	「ポスターカードを刷る」 ～消しゴムハンコ～	10	<ul style="list-style-type: none"> ・消しゴムハンコ作家の制作の様子や作品を見て特徴や制作手順、技法を学ぶ ・練習課題に取り組み、カッターなどの道具を扱う技能を高める ・干支の動物の特徴を踏まえながら個性的なデザインを考える ・デザイン案をもとに消しゴムハンコを彫り、紙に刷る ・相互鑑賞
12			
1	「西洋美術史」	5	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から現代までの西洋美術の特徴を知ることによって諸外国の美術作品や文化遺産などから美意識や創造性などを感じ取る。 ・日本美術との相違点や共通点などを考え、見方や感じ方の理解を深める。
2	「点が生み出す表情」 ～ピクセルアート（ドット絵）～	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクセルアートの美術作品を鑑賞し、特徴を学び取る ・色についての基礎知識を学ぶ ・平塗りの技法を身に付ける ・ピクセルアートの絵柄を考え、制作する ・相互鑑賞
3			

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
書道 I	普通科、探究科、総合ビジネス科、農と食の科学科、緑と水の科学科、社会福祉科・1年	2	

使用教材	□書 I (光村図書)
------	-------------

科目の目標		
<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p>	<p>書よさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p>	<p>主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の基準 [わかった・できた] ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。 ・単元に関する知識を学び取っている。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・用筆、運筆、字形を構想し工夫し、相手に伝えることができている。 ・全体の調和や目的に則した表現形式など、意図に基づいて構想・工夫し、相手に伝えることができている。	B 評価の規準 [主体的] ・書の学習を通して自らの創造的な力を高めようとしている。自らの感性を高め、書の伝統と文化に親しもうとしている。 [粘り強さ] ・表現を模索し、工夫しながら取り組んでいる。
※定期考査は実施しません。 提出された作品やワークシート、授業態度で評価します。		※作品やワークシートの未提出、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人は C 評価となります。
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション	4	・中学校国語科書写で学んだことの確認 ・用具用材について～文房四宝～ ・姿勢や執筆法
5	【漢字の書】 楷書の学習 楷書古典の鑑賞、比較	2	・楷書の特徴 ・表現の比較
6	楷書古典の臨書 ① 九成宮醴泉銘	5	・九成宮醴泉銘の臨書 直線的で鋭い点画 緻密に構成された点画 縦長で背勢
7	② 牛橛造像記	5	・牛橛造像記の臨書 鋭角的な点画 点画の角張った字形(方勢)

8			
9	③ 顔氏家廟碑	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顔氏家廟碑の臨書 力のこもった用筆 蚕頭燕尾 正方形で向勢
10	楷書の創作	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既習の楷書古典の中から一つ選ぶ ・ 古典の特徴を生かした創作作品の制作
11	行書の学習 行書古典の臨書 ① 蘭亭序	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行書の特徴 ・ 蘭亭序の臨書 流れの中に抑揚を利かせた用筆 多様な字形
12	② 風信帖	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風信帖の臨書 重厚感のある用筆 安定した字形
1	【仮名の書】 仮名の学習 古筆の臨書	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮名の成り立ちについて ・ いろは(単体) ・ 蓬萊切 ・ 三色紙(散らし書き) ・ 創作
2			
3	【漢字仮名交じりの書】 漢字仮名交じりの書の学習 漢字仮名交じりの書の創作	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字仮名交じりの書の変遷 ・ 表現の工夫 ・ 相互鑑賞

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
英語コミュニケーション I	普通科・探究科・総合ビジネス科・1年	3	

使用教材	<input type="checkbox"/> Power On English Communication I (東京書籍) <input type="checkbox"/> Power On English Communication I WORKBOOK (東京書籍) <input type="checkbox"/> 単語・熟語 Brick 1 (いいずな書店) <input type="checkbox"/> EARTHRISE アースライズ総合英語 (数研出版)
------	--

科目の目標		
<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の5つの領域において言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり使えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各課の文法事項、文の形・意味・用法を理解できるようになる。基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につける。学習した用法を話し言葉において、適切な場面・状況で使う技能を身につける。	各課の内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	各課の内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

<p>B 評価の規準</p> <p>[わかった・できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各課の文法事項、文の形・意味・用法を理解している。 基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。 学習した用法を話し言葉において、適切な場面・状況で使おうとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[よく考え、意見を持ち、説明できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各課の内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[やり取りができた]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各課の内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	Lesson 1 Japan's New Tourism	5	動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形
	Zoom in with コーパス 1	2	話しことばと助動詞
5	Lesson 2 Light from Creatures	6	受け身，現在完了形，現在完了進行形
	Sounds Interesting 1	1	音節
6	Lesson 3 Routes to the Top	6	動名詞，不定詞，S+V+O [that 節]
	Sounds Interesting 2	1	語の強勢（目立つ音節）
7	Lesson 4 Left to Right, Right?	6	後置修飾の現在分詞，後置修飾の過去分詞，比較級・最上級
	Zoom in with コーパス 2	1	get を使いこなし方
8	Summer Reading Mama's Bank Account	4	既習事項
9	Lesson 5 Banana Paper	6	関係代名詞（主格），関係代名詞（目的格），S+seem+to 不定詞
	Zoom in with コーパス 3	3	話しことばと関係代名詞(1)
10	Lesson 6	6	It+be 動詞＋形容詞＋that 節，S+V [be 動

	Patterns in Human Behavior		詞以外+C], S+V+O+C [形容詞]
	Sounds Interesting 3	1	文の強勢 (文末の内容語)
11	Lesson 7 No Plastic or No Future	6	関係副詞 where, 関係副詞 when, 関係代名詞 what
	Sounds Interesting 4	1	音のつながり (同じ子音が連続する場合)
12	Lesson 8 Oh My Cod!	6	現在分詞の分詞構文, 関係代名詞の非制限用法, 過去完了形
	Zoom in with コーパス 4	3	話しことばと関係代名詞(2)
1	Lesson 9 Is E-sports a Real Sport?	6	S+V [知覚] +O+ [現在分詞, 原形不定詞], S+V [使役] +O+C [原形不定詞], S+V+O ₁ +O ₂ [if などの節]
2	Lesson 10 Being Different Is Beautiful	6	wish+仮定法過去の節, 仮定法過去の as if 節, 仮定法過去の if 節
3	Optional Reading THANK YOU, ICHIRO	3	既習事項

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
論理・表現 I	普通科・探究科 1年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> EARTHRISE English Logic and Expression I Standard (数研出版) <input type="checkbox"/> EARTHRISE English Logic and Expression I レッスンブック Grammar in 24 Lessons (数研出版) <input type="checkbox"/> 単語・熟語 Bricks 1 (いっぴな書店) <input type="checkbox"/> EARTHRISE アースライズ総合英語 (数研出版)
-------------	--

科目の目標		
「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各課の文法事項や用法を理解し、必要な背景知識・語彙・表現を用いて、自分の考えを述べるができるようになる。場面に即した内容を書いたり、述べたりする技能を身につける。各課の内容について、クラスメートと伝え合い、その内容について発表する技能を身につける。	各課の情報について整理し、理由を含めて自分の気持ちを伝える文章を書けるようになる。クラスメートと各課の内容について、質問したり、答えたりできるようになる。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表できるようになる。	自分の意見を理由とともに伝える文章を書こうとしている。クラスメートに質問したり、自分の考えを伝えようとしている。各課の情報や内容を整理し、発表しようとしている。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・各課の文法事項や用法を理解し、必要な背景知識・語彙・表現を用いて、自分の考えを述べている。場面に即した適切な内容を書いたり、述べることができる。内容について、クラスメートと伝え合い、その内容について発表している。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・各課の情報について整理し、理由を含めて自分の気持ちを伝える文章を書くことができる。 クラスメートと各課の内容について、質問したり、答えたりできる。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表している。	B 評価の規準 [自分の考えを伝えようとした] ・クラスメートに質問したり、自分の考えを伝えようとしている。 ・自分の意見を理由とともに伝える文章を書こうとしている。 [相手の質問に答えようとした] ・クラスメートとのやり取りで相手の質問に答えようとしている。 [発表しようとした] 各課の情報や内容を整理し、発表しようとしている。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	はじめに	2	英語の語順／品詞 ・英文の基本構造 〈S+V…〉 /各品詞
	Lesson 1 Introduce yourself to your class	4	説明・紹介する ・〈S+V+C〉/〈S+V+O〉/〈S+V+O+O〉/ 〈S+V+O+C〉
5	Lesson 2 How do you spend your weekends?	4	時を表す（現在・過去・未来） ・過去形/現在進行形/will/be going to do/(未来を表す)現在進行形
6	Lesson 3 Where did you go on vacation?	4	時を表す（完了形） ・現在完了形/現在完了進行形/過去完了形
	Lesson 4 How can I get there?	4	能力・許可・義務などを表す ・can/may/must/have to
7	Lesson 5 Would you like to come with me?	4	依頼・勧誘や推量などを表す ・would/could/may/ 〈should have+過去分詞〉 / 〈must have+過去分詞〉

	Lesson 6 Something really Japanese	2	「～される」を表す ・〈be 動詞+過去分詞〉 /be made of ~ /be interested in ~ /be pleased
8	Lesson 6 Something really Japanese	2	「～される」を表す ・〈be 動詞+過去分詞〉 /be made of ~ /be interested in ~ /be pleased
9	Lesson 7 Do you have any volunteer activities?	4	「～すること」などを表す (to do) ・不定詞の名詞的用法/形容詞的用法/副詞的用法/It is ... to do ~
	Lesson 8 Let' s enjoy school life?	2	to do / do を使って表す ・〈want+0(人)+to do〉 / 〈see+0(人)+do〉 / 〈let+0(人)+do〉 / 〈make+0(人)+do〉
10	Lesson 8 Let' s enjoy school life?	2	to do / do を使って表す ・〈want+0(人)+to do〉 / 〈see+0(人)+do〉 / 〈let+0(人)+do〉 / 〈make+0(人)+do〉
	Lesson 9 Are you eco-friendly?	4	「～すること」を表す (doing) ・動名詞 (主語になるもの/目的語になるもの/前置詞の目的語になるもの) /動名詞の否定形
11	Lesson 10 What sports do you like?	4	doing / done を使って説明する (1) ・分詞 (限定用法/叙述用法) /excited と exciting
	Lesson 11 That' s new to me!	4	doing/done を使って説明する (2) ・〈see+0(人)+doing〉 / 〈have+0(物)+done〉 /分詞構文
12	Lesson 12 Which Nobel Prize winner do you admire most?	4	人や物について説明する (who, which) ・関係代名詞 (who/which/that) /関係代名詞の継続用法
	Lesson 13 I' m interested in history	4	時や場所などについて説明する ・関係副詞 (when/how/where) /関係副詞の継続用法
1	Lesson 14 Various countries around the world	4	比較を表す ・〈as ~ as ...〉 / 〈not as ~ as ...〉 / 比較級/最上級
2	Lesson 15 What job are you interested in?	3	仮定を表す ・仮定法過去/I wish+仮定法過去/仮定法過去完了
3	パラグラフ・ライティングの基本	2	パラグラフ・ライティング ・英語のパラグラフの構成
	ディベートの進め方	1	ディベート

		<ul style="list-style-type: none"> ・ディベートの流れ, ディベートでよく使われる表現
	ディスカッションの進め方	<p>1</p> <p>ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッションの流れ, ディスカッションでよく使われる表現

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
情報 I	普通科 1 年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 新編情報 I 東京書籍 <input type="checkbox"/> ワークブック 新編情報 I 資料ノート <input type="checkbox"/> PC教材 Life Is Tach Lesson
-------------	---

科目の目標		
<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。</p>	<p>様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p>	<p>情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [理解できた・完成した] ・【まとめ】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 ・説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、 <u>適切にメモに残している。</u>	B 評価の規準 [発展した学習によく考え、取組み、説明できた] ・【設問】や【タブレット学習】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考えを表できている。</u> ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、 <u>仲間のサイン</u> を受けている。	B 評価の規準 [粘り強さ] ・学習活動に真剣に取り組み、ネット副教材にじっくり取り組むことができる。 [自分なりの工夫] ・自分の到達目標を決め、予習復習、進んだ学習ができている。特にタブレット学習は、共通テストやITパスポートを目指す人は予習必須です。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション 1 情報とメディアの特性[p. 6] (や) 表現メディアの違いによるメリットとデメリット	1	・ Society5.0 から情報 I の学習目標とシラバスを理解する。 ・ 実習用コンピュータの使い方を理解する。 ・ 情報の特性から情報とは何か理解する。 ・ さまざまなメディアの特性を理解する。
	2 問題解決の流れ[p. 8]	2	・ 問題を発見・解決するための一連の流れを理解する。 ・ 問題の発見・解決に情報技術が活用できることを理解する。
	発想法[p. 10] 実 41 アイディアの大量生産[p. 118]	2	・ 問題解決の各場面で活用できる発想法を学習する。
5	4 情報モラル[p. 12] (や) 法律が社会の変化に対応できていない例 5 個人情報の流出 [p. 14] (2) 個人情報をどこまでイン	2	・ 情報モラルを理解する。・ 法規や制度および個人の責任を学習する。・ 個人情報を理解する。・ SNS を通して個人情報が流出・特定される仕組みを学習する。・ SNS 等の不適切

	<p>ターネット上に公開できるか6 傷つかない傷つけないために[p. 16] (や)セキュリティ上よいパスワード</p> <p>7 著作権[p. 18] (や)学校の授業での著作物の扱い</p>		<p>な使い方を理解する。・不正に情報が盗まれることを理解する。 ・著作権について理解する。 ・引用の仕方を理解する。</p>
	<p>8 情報技術の発展[p. 20] (や)電子マネーと現金の比較</p> <p>9 情報化と私たちの生活の変化[p. 22]</p> <p>10 よりよい情報社会へ[p. 24] (4)サイバー犯罪の対策</p>	2	<p>・画像処理や電子商取引などの新しい情報技術について学習する。・人工知能やロボットなどの情報技術と生活の変化を理解する。・情報化による健康への影響などの問題について学習する。・サイバー犯罪などの問題について学習する。</p>
6	<p>11 コミュニケーション手段の変化[p. 34] (や)スマートフォンがない時代の生活</p> <p>12 ネットコミュニケーションの特徴[p. 36] (や)直接会うことができない場合のメディアの選択</p>	2	<p>・メディアとコミュニケーションの変遷を学習する。 ・メディアの特性について学習する。 ・近年のソーシャルメディアによる人のつながりを理解する。 ・ネットコミュニケーションの特徴である記録性や匿名性について学習する。</p>
	<p>13 デジタル世界へ[p. 38] (や)アナログ表示とデジタル表示比較 14 数値と文字のデジタル表現[p. 40]</p>	1	<p>・デジタルデータとは何か ・デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。 ・2進法と情報の単位 ・文字のデジタル表現</p>
	<p>15 音と画像のデジタル表現[p. 42] 16 色と動画のデジタル表現[p. 44] 17 目的に応じたデジタル化[p. 46] (や)スマートフォン圧縮形式</p>	2	<p>・音, 画像, 動画のデジタル化。・デジタルでの色の原理。・デジタル情報の品質の違い。・データ圧縮</p>
7	<p>18 情報デザイン[p. 48] (や)学校 Web サイトの階層構造の調査 実 49 図解表現[p. 126]</p>	3	<p>・情報デザインとは何か学習する。・情報デザインの方法である抽象化, 可視化, 構造化を理解する。・学校の Web サイトがどのような階層構造になっているか調べる。・情報デザインの方法を使って分かりやすい文書を作成する。</p>
	<p>19 ユニバーサルデザイン[p. 50] (や)身の回りの機器のユーザインタフェースの改善 20 情報デザインの流れ[p. 52] (や)ユーザを地域の高齢者と想定したとき, どのような分析ができるか</p>	2	<p>・ユニバーサルデザインについて学習する。・ユーザインタフェースについて学習する。・情報デザインのプロセスを理解する。・情報デザインのプロセスを活用する方法を身につける。・デザイン思考に基づいた分析を理解する。</p>

	考える		
8	実 51 映像制作[p. 130]	2	・映像作品を制作する。
9	21 コンピュータとは何か [p. 62] (や) コンピュータが入っている製品 22 ソフトウェアの仕組み[p. 64] (や)プログラミング言語の種類	3	・コンピュータの基本構成について理解する。・ハードウェアとソフトウェアについて理解する。・プログラムの動作の仕組みについて学習する。
	23 演算の仕組みとコンピュータの限界[p. 66]	2	・コンピュータの演算の仕方について学習する。・コンピュータの処理のための基本的な回路について学習する。
10	24 アルゴリズムの表現[p. 68] (問題) 通学方法の判断 25 プログラムの基本構造 1[p. 70] (問題) 円と三角形の面積	3	・アルゴリズムの必要性を理解する。 ・アルゴリズムの表現方法について学習する。
	26 プログラムの基本構造 2[p. 72] (問題) 3 の倍数を判定 (問題) 偶数を表示	2	・プログラムの作り方について学習する。 ・プログラムの制御構造について学習する。
11	27 発展的なプログラム 1[p. 74] (問題) 7 で割った余りが 3 となる数の表示 実 52 気まぐれ AI[p. 132] 28 発展的なプログラム 2[p. 76] (問題) おみくじゲーム	3	・プログラムで制御構造を組み合わせる方法を学習する。 ・プログラムの配列とリストについて学習する。 ・簡易な対話プログラムを開発する。 ・プログラムでの関数の利用について学習する。
	29 モデル化とシミュレーション [p. 78] 30 シミュレーションの活用[p. 80] 実 55 シミュレーション[p. 137]	2	・モデル化の考え方と、モデルの分類について学習する。・シミュレーションによるモデルの評価について学習する。・モデル化とシミュレーションにおける注意点を学習する。・テーマを決めて、表計算ソフトウェアでシミュレーションを行う。
12	31 ネットワークとインターネット [p. 90] (や) インターネットの今後の利用 32 インターネットの仕組み [p. 92] (や) 学校のコンピュータの IP アドレス 33 サーバとクライアント	2	・情報通信ネットワーク・LAN と WAN・プロトコル, TCP/IP・ネットワーク構成ハードウェア・サーバの役割・インターネットでの IP アドレスと DNS ・認証後に使えるようになるサービスには、どのようなものがあるか調べる。

	[p. 94] (や) 認証後に使えるサービス		
	各 34 インターネット上のサービス [p. 96] (や) ネットワークが繋がらなくなったときの対応	1	<ul style="list-style-type: none"> • WWW を理解する。 • 電子メールについて学習する。
	35 情報セキュリティ [p. 98] (や) 学校内の情報セキュリティ技術	2	<ul style="list-style-type: none"> • 情報セキュリティの機密性, 完全性, 可用性を理解する。 • 情報セキュリティを確保するための方法・技術について学習する。
1	36 データの形式 [p. 100] (や) 身近にあるデータの質的データ, 量的データおよび各尺度の判断	2	<ul style="list-style-type: none"> • データとは何か学習する。 • データの尺度とは何か学習する。
	37 データベースの活用 [p. 102]	2	<ul style="list-style-type: none"> • データベースの役割がどのようなものか理解する。
	38 さまざまなデータモデル [p. 104] 実 59 コンビニデータベース [p. 142] (や) 関係データベースの利点	1	<ul style="list-style-type: none"> • 社会のデータベース活用例を学習する。 • データベースで使用するデータモデルについて学習する。 • 関係データベース分析して, 解釈する。
2	39 データ分析の流れ [p. 106] (や) クロス集計表の結果の考察	5	<ul style="list-style-type: none"> • データ分析の流れと方法を学習する。
3	40 目的に合わせたデータの利用 [p. 108] (や) 欠損値や外れ値が含まれていた場合の分析結果	1	<ul style="list-style-type: none"> • 分析の目的に合わせたデータの利用方法を学習する。 • 適切なデータの解釈方法を学習する。

「地域学」の指導目標および学習指導計画

1 目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、阿蘇地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決ができるようにする基礎力として、以下の資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 阿蘇地域の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、阿蘇地域の特徴や良さに気づき、探究の意義や価値を理解する。</p> <p>(2) 阿蘇地域における人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付ける。</p> <p>(3) 阿蘇地域の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を育てる。</p>			
2 内容	<p>①探究課題</p> <p>(Ⅰ 前期) 地域の伝統や文化とその継承に取り組む人々や組織 「輝いている大人を知ろう」 (地域の人物図鑑の作成)</p> <p>(Ⅱ 後期) 地域活性化に向けた特色ある取組 「ミッションを解決しよう」 (地域課題への解決策を提案)</p>	<p>②探究的な活動をとおして育成を目指す具体的な資質・能力</p> <p>知識及び技能</p> <p>①アイデアの整理や可視化の手法を身に付けること。 ②先行研究等を調べる意義を理解し、調べる手法を身に付けること。 ③情報収集の方法について、それぞれの特徴や注意点等を理解すること。 ④インタビューや現地調査について、申込みやポイント、注意点等を理解すること。 ⑤アンケートの取り方やポイント等を理解すること。 ⑥収集した参考資料やデータ等のまとめ方などを理解すること。 ⑦統計資料の活用等を理解すること。 ⑧レポートの構成や書き方等について理解すること。 ⑨発表方法の特徴や注意点等を理解すること。 ⑩積極的に他者とコミュニケーションをとること。</p>	<p>思考力・判断力・表現力</p> <p>①複雑な問題状況の中から適切に課題を設定すること。 ②仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案すること。 ③目的に応じて手段を選択し、情報を収集すること。 ④必要な情報を収集し、類別して蓄積すること。 ⑤複雑な問題状況における事実や関係を把握し、自分の考えをもつこと。 ⑥視点を定めて多様な情報を分析すること。 ⑦課題解決を目指して事象を比較したり、因果関係を推測したりして考えること。 ⑧相手や目的、意図に応じて論理的に表現すること。 ⑨学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとすること。</p>	<p>学びに向かう力、人間性等</p> <p>①活動を通して、自己を見つめ、自分の個性や特徴に向き合おうとすること。 ②活動を通して、異なる多様な意見を受け入れ尊重しようとする事。こと。 ③自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けた活動に取り組もうとすること。 ④自他の良さを認め特徴を生かしながら、協働して解決に向けた活動に取り組もうとすること。 ⑤活動を通して、自己の在り方生き方を考えながら、将来社会の理想を実現しようとする事。こと。 ⑥活動を通して、社会の形成者としての自覚をもって、社会に参画・貢献しようとする事。こと。</p>

「地域学」に係る内容のまとまりの評価規準及び指導と評価の計画

内容のまとまりの評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①アイデアの整理や可視化の手法を身に付けている。 ②先行研究等を調べる意義を理解し、調べる手法を身に付けている。 ③情報収集の方法について、それぞれの特徴や注意点等を理解している。 ④インタビューや現地調査について、申込みやポイント、注意点等を理解している。 ⑤アンケートの取り方やポイント等を理解している。 ⑥収集した参考資料やデータ等のまとめ方などを理解している。 ⑦統計資料の活用等を理解している。 ⑧レポートの構成や書き方等について理解している。 ⑨発表方法の特徴や注意点等を理解している。 ⑩積極的に他者とコミュニケーションをとれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①複雑な問題状況の中から適切に課題を設定することができる。 ②仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案することができる。 ③目的に応じて手段を選択し、情報を収集することができる。 ④必要な情報を収集し、類別して蓄積することができる。 ⑤複雑な問題状況における事実や関係を把握し、自分の考えをもつことができる。 ⑥視点を定めて多様な情報を分析することができる。 ⑦課題解決を目指して事象を比較したり、因果関係を推測したりして考えることができる。 ⑧相手や目的、意図に応じて論理的に表現することができる。 ⑨学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①活動を通して、自己を見つめ、自分の個性や特徴に向き合おうとしている。 ②活動を通して、異なる多様な意見を受け入れ尊重することができる。 ③自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けた活動に取り組むことができる。 ④自他の良さを認め特徴を生かしながら、協働して解決に向けた活動に取り組もうとしている。 ⑤活動を通して、自己の在り方生き方を考えながら、将来社会の理想を実現しようとしている。 ⑥活動を通して、社会の形成者としての自覚をもって、社会に参画・貢献しようとしている。

指導と評価の計画

時間	目標	重点	指導方法等	評価規準 (B規準)	評価方法	記録
1 ～ 2	<ul style="list-style-type: none"> 阿蘇の優れた特徴や課題について、考察すること。 探究的な学びの重要性や「地域学」での学習内容について理解すること。 	態② 態③	【リエンテーション】 <ul style="list-style-type: none"> 4人程度の班で、ブレスト、KJ法 説明（ICT活用） 	<ul style="list-style-type: none"> 阿蘇の優れた特徴や課題を考えて書き出している。 探究的な学びの重要性や「地域学」での学習内容について理解している。 	態：WS 行動観察	
3 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> 輝いている大人の人物像について考察し保護者や教職員以外の大人への興味・関心を高めること。 	知① 態②	【整理・分析】 <ul style="list-style-type: none"> 人物像について、ブレスト、KJ法 班別発表 目標（阿蘇で輝く大人図鑑の作成）の提示（4人程度の班で大人2名をリサーチ） 	<ul style="list-style-type: none"> アイデアの整理や可視化の手法を身に付けている。 輝いている大人の人物像について複数の意見を出している。 異なる多様な意見を受け入れ尊重することができる。 	知：WS	
5 ～ 6	<ul style="list-style-type: none"> 輝いてる大人図鑑の作成に向けての構想を練ること。 情報収集の方法について考え、特徴や注意点を考察すること。 	態④ 知⑩	【情報の収集】 <ul style="list-style-type: none"> 班別ディスカッション 班別発表 	<ul style="list-style-type: none"> 協働して活動に取り組んでいる。 複数の情報収集の方法を考え、特徴や注意点を考察している。 	知：発言 行動観察	
7 ～ 8	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集の方法について、それぞれの特徴や注意点を理解すること。 図書館の使い方等を理解すること。 インターネットを利用した情報収集や留意点を理解すること。 	知③	【情報の収集】 <ul style="list-style-type: none"> 特徴や注意点を調べて意見交換後に説明（ICT活用） 図書館にて実施 	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集の方法について、それぞれの特徴や注意点を理解している。 	知：WS	○
9 ～ 10	<ul style="list-style-type: none"> 輝いてる大人図鑑の候補者について、根拠を持ってリストアップすること。 候補者への情報収集等の方法について考察すること。 外部講師について、情報を収集すること 	思① 思③	【情報の収集】 <ul style="list-style-type: none"> 考える候補者と根拠を班内で共有する。（グループワーク） 次回は外部講師を招くことを予告し、どのような活動をしているか等のリサーチと共有。 	<ul style="list-style-type: none"> 根拠を持ってリストアップできている。 候補者への情報収集等の方法について考察している。 目的に応じて手段を選択し、情報を収集することができる。 	思：WS	

11 ～ 12	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の話の要点や要旨をまとめること。 ・阿蘇の優れた特徴やその独自性について理解すること。 ・阿蘇の自然と他の地域とのつながりを理解すること。 ・阿蘇の人々が、互いに支え合い協力し合っていることを理解すること。 	思④ 思⑥	【情報の収集】 【整理・分析】 <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による講話 ・外部講師のイメージはあそBe隊 薄井隊長等 	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の話の要点や要旨をまとめている。 ・阿蘇の優れた特徴やその独自性を理解している。 ・阿蘇の自然と他の地域とのつながりを理解している。 ・阿蘇の人々が、互いに支え合い協力し合っていることを理解している。 	思：WS	○
13 ～ 14	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの申込みやポイント等について理解すること。 ・アンケートの取り方やポイント等について理解すること。 ・輝いてる大人図鑑の候補者を再考すること。 ・インタビュー（現地学習）先について学び、訪問先を決めること。 	知④ 知⑤	【整理・分析】 <ul style="list-style-type: none"> ・リサーチ ・情報共有 ・代表班の発表 ・説明（グループワーク） 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの申込みやポイント等を理解している。 ・アンケートの取り方やポイント等を理解している。 ・インタビュー（現地学習）先について調べ、訪問先を挙げる事ができている。 	知：WS	
15 ～ 16	<ul style="list-style-type: none"> ・現地学習または講師招聘の計画を立てること。 ・先方へアポ取りをして約束を取りつけること。 	知④ 知⑩	【整理・分析】 <ul style="list-style-type: none"> ・リサーチ ・フィールドワーク等事前学習（グループワーク） 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地学習または講師招聘の計画を立てることができている。 ・先方とコミュニケーションがとれている。 	知：WS (計画表)	
17 ～ 18	<ul style="list-style-type: none"> ・現地または校内にて大人図鑑作成のための情報等を収集すること。 	知④ 知⑥ 思③ 思④	【情報の収集】 【整理・分析】 <ul style="list-style-type: none"> ・調査 ・整理と表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集している。 ・収集した情報を、整理・分析し効果的な表現を考えている。 ・人物紹介（図鑑）の素案を作成し、相手の確認や了承を得ている。 	知：WS 思：WS 成果物 行動観察	○
19 ～ 20	<ul style="list-style-type: none"> ・収集した情報を、整理・分析し効果的な表現を考えること。 	思⑥ 思⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークまたは講師招聘（グループワーク） 			
21 ～ 22	<ul style="list-style-type: none"> ・人物紹介（図鑑）の素案を作成し、相手の確認や了承を得ること。 					
23 ～ 24	<ul style="list-style-type: none"> ・人物紹介シートを教室内に掲示し、互いに評価しあうこと。 ・評価票のコメントや他の班のシートをもとに改善点を話し合うこと。 	態② 態④	【中間発表会】 【まとめ・表現】 【整理・分析】 <ul style="list-style-type: none"> ・発表（A3用紙2枚を貼り合わせた大きさで） 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者に対して適切な評価やアドバイスをしている。 ・評価票のコメントや他の班のシートをもとに改善点を協議している。 	態：発言 行動観察	

25 ～ 26	<ul style="list-style-type: none"> ・（必要に応じて）再インタビュー等を行うこと。 	知⑨ 思⑤ 思⑧	【情報の収集】 【整理・分析】 【まとめ・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼン資料はスライドで、展示用シートは広用紙を基本とする。（グループワーク） 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表方法の特徴や注意点を理解している。 ・相手や目的、意図に応じて表現することができる。 	思：成果物	
27 ～ 28	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会に向けて人物紹介シート及びプレゼン資料等を作成すること。 					
29 ～ 30	<ul style="list-style-type: none"> ・湧穂祭（文化祭）における展示用シートを作成すること。 					
31 ～ 32	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に分かりやすく興味・関心を高めるような発表を行うこと。 ・発表を聞いて、評価を行うこと。 	思⑧ 態②	【発表会】 【まとめ・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・国際観光棟などを使用し、モデルとなった大人を招待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に分かりやすく興味・関心を高めるような発表ができている。 ・発表を聞いて、適切な評価をしている。 	思：発表態：評価票	○
33 ～ 34	<ul style="list-style-type: none"> ・他者からの評価票を確認するとともに、活動全般を振り返り、自己評価を行うこと。 	思⑨ 態⑤ 態⑥	【振り返り】 <ul style="list-style-type: none"> ・次の単元に向けて、反省点等を共有しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な自己評価を行うことができている ・社会の形成者としての自覚をもち、社会に参画・貢献しようと考えている。 	思：振り返りシート 態：振り返りシート	○
35 ～ 36	<ul style="list-style-type: none"> ・活動（学習）内容について理解すること。 ・課題解決に取り組む課（班）を進路希望との関連を考えて選択すること。 	態⑤	【リエンション】 【課題の設定】 <ul style="list-style-type: none"> ・市役所等と事前に打合せを行い現代的かつ具体的なミッションを準備しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の在り方生き方を考えている。 ・進路希望との関連を考えて、課（班）を選択している。 	態：WS	
37 ～ 38	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を多角的な視点から考えて、複数の小テーマを設定すること。 ・各班内で、小テーマの担当者を決定すること。 	知① 思①	【整理・分析】 <ul style="list-style-type: none"> ・ブレスト、K J 法 ・ディスカッション（グループワーク） 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアの整理や可視化の手法を身に付けている。 ・小テーマを複数設定することができる。 	知：WS 思：WS	○
39 ～ 40	<ul style="list-style-type: none"> ・担当テーマについて個人でウェビングを行い、課題解決に向けた、視点を広げること。 ・各班でグループのウェビングを行い、視点をより広げること 	知① 態②	【整理・分析】 <ul style="list-style-type: none"> ・ウェビング ・ディスカッション（グループワーク） 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて、視点を広げている。 ・異なる意見を受け入れ尊重することができる。 	知：WS 態：発言行動観察	
41 ～ 42	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の背景や先進的な取組事例等の情報を収集し、整理すること。 	知② 思④	【情報の収集】 <ul style="list-style-type: none"> ・調査 ・整理と表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・先行研究等を調べる意義を理解し、調べる手法を身に付けている。 ・必要な情報を収集して、整理している。 	知：WS 思：WS	

43 ～ 44	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて考えた視点、課題の背景、先進的な取組事例等を発表すること。 ・他の班の発表を聞き、適切な助言等を行うこと。 	思⑧ 態④	【中間発表会】 【まとめ・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・整理と表現 ・新たな課題等の発見など、活動内容をより深めるために、質疑応答を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて適切に表現することができる。 ・自他のよさを認め、協働して取り組もうとしている。 ・他者に対して適切な評価やアドバイスをしている。 	思：発表 態：発言 行動観察	○
45 ～ 46	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報やクラスメイトからの助言を整理し、課題解決に向けた原案を作成すること。 ・現状分析や原案を深めるために、相談を行う外部講師の選定や現地学習の計画を立てること。 	思② 思③	【情報の収集】 【整理・分析】 <ul style="list-style-type: none"> ・リサーチ ・フィールドワーク等事前学習（グループワーク） 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮説を立てて、検証方法を考えることができる。また、そのための計画を立案することができる。 ・目的に応じて手段を選択することができる。 	思：WS	○
47 ～ 48	<ul style="list-style-type: none"> ・講師招聘または現地学習の計画を立てること。 ・計画を発表しあうことで、班を超えた連携を調整すること。 ・先方へアポイントを取りつけて約束を取りつけること。 	知③ 知⑩ 思②	【中間報告会】 【まとめ・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク等事前学習 ・整理と表現（グループワーク） 	<ul style="list-style-type: none"> ・検証方法等を考え、計画を立案することができる。 ・どうしたら自他共に成長することができるかという視点で考えようとしている。 	知：WS	
49 ～ 50 51 ～ 52 53 ～ 54	<ul style="list-style-type: none"> ・校内または現地にて課題解決の案を磨くための助言を受けたり、情報を収集したりすること。 ・収集した助言や情報を踏まえて、より効果的かつ現実的な解決案を考えること。 	知⑤ 知⑥ 知⑦ 知⑩ 思⑤ 思⑥ 思⑦ 態③	【情報の収集】 【整理・分析】 【課題の設定】 <ul style="list-style-type: none"> ・調査 ・整理と表現 ・フィールドワークまたは講師招聘（グループワーク） 	<ul style="list-style-type: none"> ・収集した参考資料やデータ、統計資料等のまとめ方や活用などを理解している。 ・課題解決を目指して事象を比較したり、因果関係を推測したりして考えることができる。 	知：WS 思：WS 成果物 行動観察	○
55 ～ 56	<ul style="list-style-type: none"> ・校内または現地での助言や気づき等をクラス内で共有すること。 	思⑧ 態②	【中間報告会】 【まとめ・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・整理と表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて論理的に表現することができる。 	態：発表 行動観察	○
57 ～ 58	<ul style="list-style-type: none"> ・全体発表に向けての準備として、絵コンテの作成、担当ページ、コメントの役割分担等を行うこと。 ・個人のプレゼンデータ（スライド）を作成すること。 	知⑧ 知⑨	【整理・分析】 【まとめ・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼン資料はスライドを基本とする。（グループワーク） 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの構成や書き方等について理解している。 ・発表方法の特徴や注意点等を理解している。 	知：成果物	

59 ～ 60	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド発表のポイントについて考察し、理解すること。 ・学んだことを踏まえて発表準備をすること。 	知⑨ 思⑦	【整理・分析】 <ul style="list-style-type: none"> ・説明 ・発表準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決を目指して事象を比較したり、因果関係を推測したりして考えることができる。 	知：WS 成果物	
61 ～ 62	<ul style="list-style-type: none"> ・全体発表に向けて、スライドの結合やリハーサルを行い、聞き手をより意識した発表・表現を考察すること。 	知⑨ 思⑧	【まとめ・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・発表準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的で分かりやすい資料や話術について理解している。 	思：成果物	
63 ～ 64	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩（2年生）の発表会の見学を通して、自分たちの発表や表現の修正点を考えること。 	態⑥	【情報の収集】	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の形成者としての自覚を高め、社会に参画・貢献しようと考えている。 	態：振り返りシート	
65 ～ 66	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手が分かりやすく納得するような提案をすること。 ・質疑に適切に対応すること。 ・発表を聞いて、評価を行うこと。 	思⑧ 態④	【発表会】 【まとめ・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・国際観光棟などを使用し、ミッション策定に携わった関係者を招待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けた最適解を、分かりやすくなるよう工夫して提案している。 ・学びをより深めるような質疑等を行うことができる。 	思：発表成果物 態：評価票	○
67 ～ 68	<ul style="list-style-type: none"> ・他者からの評価票を確認するとともに、活動全般を振り返り、自己評価を行うこと。 	思⑨ 態②	【振り返り】 【まとめ・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・探究のプロセスでどのような学びがあったのかまた、どのように学びを活用できたかを記録。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。 ・自分の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見できている。 	思：振り返りシート 態：振り返りシート	○
69 ～ 70	<ul style="list-style-type: none"> ・「阿蘇学」「地域探究プログラム」について理解すること。 ・探究したいテーマについて考察すること。 	態① 態③ 態⑤	【課題の設定】 <ul style="list-style-type: none"> ・説明（ICTを活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の活動を基に新しい価値を生み出すことができるようなテーマ設定ができている。 	態：WS	